



中部家保だより

発行：中部農業事務所家畜保健衛生課（中部家畜保健衛生所）

〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1

電話 (027) 288-0371 FAX (027) 230-8052

【記事】

- 1 衛生対策を強化しましょう
- 2 冬期の消毒について
- 3 呼吸器病に注意しましょう
- 4 埋却予定地の試掘調査について
- 5 登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種について
- 6 ハエ対策は冬のうちから
- 7 定期報告書提出のお願い



【添付資料】

- 1 韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況
- 2 アニマルウェルフェアに関する調査にご協力ください！



◆◆ 衛生対策を強化しましょう ◆◆

国内での豚熱発生は依然として続いており、8月には新潟県、11月には愛媛県で初の農場発生がありました。また、隣国の韓国ではアフリカ豚熱の発生が継続しています。飼養衛生管理を含めた対策については定期的に点検・見直しを行い、従業員・来場者全員について対策の再徹底をお願いします。

（１）農場内へ病原体を持ち込まないために

・車と人の対策

車両はタイヤ、タイヤハウス、車両の底面など、しっかりと動力噴霧器等で消毒しましょう。石灰帯だけでは不十分です。

車から降りる運転手は、ブーツカバーを履くなど対策をしましょう。

・野生動物の対策

病原体を運ぶのはイノシシだけではありません。ほかの野生動物や野鳥がウイルスを運んでくる可能性があります。

防護柵や防鳥ネットは、破損がないか定期的にチェックしましょう。

特に堆肥舎の防鳥ネットが未設置の農場は、早急に設置をお願いします！

（２）豚舎内へ病原体を持ち込まないために

・人の対策

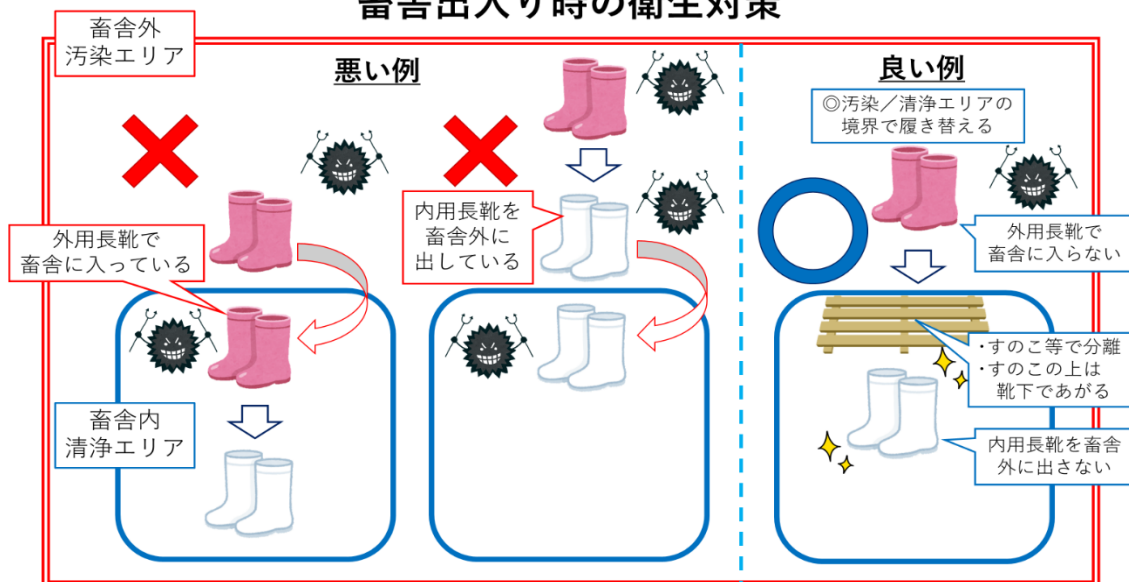
豚舎ごとに長靴の履き替え、衣服の着替え、手指消毒または専用の手袋を着用しましょう。



豚舎専用長靴への履き替えについて、豚舎外で履いていた長靴のまま豚舎内へ入ってしまっている状況がみられます。

前室がない場合は、豚舎入口にすのこ等を設置して「履き替えスペース」を確保し、豚舎内外の境界を明確にするようにしましょう。

畜舎出入り時の衛生対策



長靴の履き替え

1. 外の長靴を脱いで、保管場所へ
2. **すのこに靴下で上がる**
3. 畜舎内長靴に履き替える

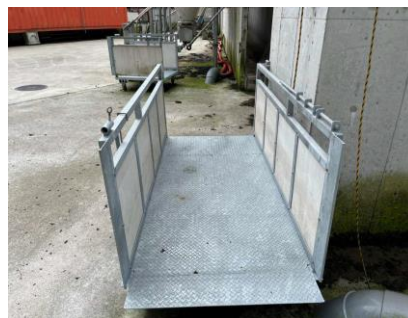
豚の移動時の対策

移動用のケージやトラックは使用直前に消毒をしてから使用しましょう。

ケージはタイヤの泥はねが豚にかかるのを防止するため、隙間がないようにしましょう。

豚舎の外を歩かせることは高リスクです！石灰消毒だけでは十分であるとは言えず、移動用のケージやトラックの使用、移動専用通路の設置を検討してください。

通路が動線の妨げになる場合には、可動式の通路などもあります。



具体的な改善方法についてわからない方は、当所までご連絡ください

◆◆ 冬季の消毒について ◆◆

低温下では逆性石鹼の消毒効果が著しく低下します。 常温と同等の効果を得るために、どの程度の濃度が必要か製品により異なるので、有効濃度を確認しましょう。

冬期は暖かい時期よりも**濃い濃度**で使用してください。
逆性石鹼の有効希釈濃度 夏期 1000 倍 → **冬期は 200 倍へ！**

また、逆性石鹼に食品添加物規格品の高純度水酸化カルシウムを 0.2% 混合すると、強アルカリ化による相乗効果で消毒効果が高まります。なお、この製品は超微粉末なので、噴霧器でも使用可能です。

消毒液が凍結してしまう場合は、ヒーターによる加温のほか、不凍液の利用をおすすめします。消毒液への混合を目的とした畜産用不凍液も市販されておりますので、活用をご検討ください。



◆◆ 呼吸器病に注意しましょう ◆◆



気温が低下し、乾燥するこれからの時期には呼吸器病が多発します。以下のことに注意をして、病気の発生、生産性の低下を防ぎましょう。

- **温度**：豚舎内の1日の温度差はどうか？ **1日に7℃以上の差があるとストレスがかかり、呼吸器病の発症リスクが上がります。**
朝晩と昼間の温度差がなるべく小さいようにしましょう。
- **湿度**：乾燥している場合は、豚舎内の通路等に消毒薬を散布し、**60～80%の湿度を保ちましょう。**
- **換気**：換気不良によるアンモニアなどの刺激ガスの増加は**気管粘膜を傷つけ、呼吸器病が発症しやすくなります。** 温度管理に注意しながら、定期的な換気しましょう。
- **飼養密度**：密飼いの状態が続くと、突然**PRRSが顕在化**することがあります。
豚のストレス軽減のためにも、密飼いは避けましょう。

豚熱、アフリカ豚熱だけでなく、様々な病気の発生防止には飼養衛生管理基準を遵守することが重要です。ウイルスや細菌を農場に持ち込まない、持ち出さない、農場内外に拡げないようにしましょう。

不明な点については、中部家保までお問い合わせください。

◆◆ 埋却予定地の試掘調査について ◆◆

豚熱や鳥インフルエンザなど特定家畜伝染病の発生が相次ぐ中で、埋却地の実効性の確認（重機が進入できるか、地下水位が高くないか等）が重要になっています。その一環として、管内農場において埋却地の試掘調査を実施しました。調査は家保や市の担当者、群馬県建設業協会など共同で実施し、実際に重機を用いて試掘を行い、作業性の確認や地下水位の高さを調査しました。

今回調査した農場のうち、1 農場の埋却地は 2.5m 程度の深さで湧水が確認され（埋却に必要な深さは 4m）、埋却地の追加確保が必要という結果になりました。実際の発生時にこのような事態になると、防疫作業に遅れが生じてしまったり、急遽埋却地を用意するために多額の費用がかかる可能性があります。

そうならないためにも、事前に埋却地の実効性を調査し、万が一の発生に備えておくことが必要です。来年度以降も本調査は実施していく予定ですので、ご協力をお願いします。



◆◆ 登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種について ◆◆

認定農場における登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種について、登録管理者の要件となっているフォローアップ研修会（年に 1 回以上の受講が必須）を、今年度も開催予定です。詳細については後日改めてのお知らせになりますが、豚熱ワクチン接種を行っている登録管理者の方は必ず受講するようにお願いします。

また、新規に農場での登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種を希望される方は、農政課家畜防疫対策室もしくは中部家保までご連絡ください。認定農場になるためには飼養衛生管理基準を遵守していることが条件となり、登録飼養衛生管理者になるためには指定の研修を受講する必要があります。詳しい制度の内容や申請に必要な書類は、群馬県のホームページに掲載されていますので、ご確認ください。

◆◆ ハエ対策は冬のうちから ◆◆

ハエは、家畜伝染病や苦情の原因となります。日々の畜舎内外の清掃や家畜排せつ物の適切な処理が重要です。ハエは、15℃を超える時期から急増すると言われています。

冬のうちから以下の対策も実施してみてもいいでしょうか。

- ・ 畜舎内外の湿った場所への脱皮阻害剤（IGR 剤）の散布
- ・ ハエのたまる暖かい場所へのハエ取り紙や粘着トラップシートの設置

◆◆ 定期報告書申請（報告）のお願い ◆◆

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の所有者は、毎年2月1日現在の飼養状況（頭数、畜舎数等）を報告することになっています。

今回から報告は、電子申請に移行し、農林水産省共通申請サービス（eMAFF：イーマップ）から申請することになりました。

既に電子申請で農場台帳の登録が済んでいる方は電子での報告をお願い致します。

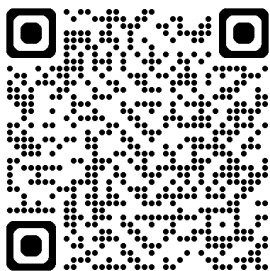
また、gBIZ ID プライム（ジービズアイディー：デジタル庁発行：eMAFFに入るためのID）を取得されていない方は取得をお願い致します。

取得できた方については、ご自身で申請ができるようにするために、中部家保までご連絡ください。

電子申請での対応が困難な方については、報告様式を送付しますので、ご記入の上ご返送ください。

● gBIZ ID（ジービズアイディー）プライムの取得方法。

ジービズアイディーのホームページから申請し、取得できます。



ジービズアイディーのホームページ

提出いただくもの

- ①定期報告書
- ②飼養衛生管理の遵守状況
- ③添付書類（農場や埋却地に変更がある場合、地図の提出をお願いします）

通知については1月下旬に発送予定です。また、申請（提出）期限については3月18日頃を予定しています。

ご不明な点がございましたら中部家保まで御連絡ください。

家畜保健衛生所は **365日24時間対応**の緊急連絡体制を確保しています。

緊急時にはご連絡ください。

中部家保 ☎ **027-288-0371**

畜産業を廃業された方にこの「中部家保だより」が送付された場合は、誠にお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。